

NPO法人 町田ハンディキャブ友の会

〒194-0013 東京都町田市原町田4-24-6 Tel: 042-721-5721 Fax: 042-721-6605
第61号 発行責任者 石井 章夫 発行日 2022年2月22日

冬のたより ~雪化粧のせりがや~



新たな年を迎えて

理事長 石井 章夫

新たな年を迎えて、私たちの活動「移送サービス事業」は順調にスタートしました。

昨年の活動は、「コロナ禍であっても休むことなく、無事に行うことができました。

あらためて、皆様のご協力ご支援に感謝いたします。

町田ハンディキャブ友の会は、1983年10月に設立し、まもなく40周年を迎えます。

発足から10年は手探り状態の活動、20年までは任意団体からNPO法人格を取得するなど実績づくりの期間でした。

そのあとの10年間は活動の実績が認められ、町田市の移送サービスの中心的な担い手となりました。

30周年記念誌の編集後記で「いつも安心して利用できる外出支援サービス事業を目標しての活動をすすめてまいります」を40周年に向けての言葉としています。

この10年間はその言葉どおり継続して事業をすすめてまいりました。

今年も、感染症対策を万全に行い「安全で安心して利用できる移送サービス」を目指して活動をすすめてまいりますので、引き続き皆様のご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

今年も、皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事より

理事 松本 光明

新年にあたり、今年こそはコロナも終息し良い年になればと願いますが、1月にはいり連日コロナ患者の過去最高の感染者数が報道されています。新たなオミクロン株の出現で感染スピードが速いとのこと。そのため、当方年初より高齢者で基礎疾患持ちの為、連日の巣ごもり生活が続いています。一日も早く元の生活に戻れ、会員の皆様と会いできるようと願っております。

思い起こすと今年が会が発足して40年になります。40年前、木曾・山崎団地センターで発足式が行われた時に私自身もその場に居たことを思い出します。会員の末席に名を連ねているだけの40年だったかのような気が

してあり、多少心苦しい思いもあります。現在のよ様な社会状況では、40周年の記念行事などは現段階では難しい状況ですが、一日も早くコロナが終息し、40周年を皆さんと祝えるような社会状況になればと毎日祈っております。

会員の皆様もコロナに負けず、元気に毎日をお過ごしください。

理事 井上 廣美

コロナ・コロナで明け暮れた2021年。一時は通常の7割も減ってしまった運行回数も徐々に回復し始めた矢先に「オミクロン株」という人類にとつて新たな対戦相手が出現しました。一説には、コロナウイルスも取り付く相手を全滅させると自分たちが生き延びられないため、少しずつパワーを低下させるとか。オミクロン株がそうであつてほしいですね。

「三密」「ステイホーム」「在宅勤務」・・・聞きなれなかつた言葉も当たり前に使われ、「うがい・手洗い・消毒」そして「マスク」が日常生活で定着・・・まだまだコロナ対策は続くと思われませんが、そろそろコロナの心配なしで街に出たいですね。

プライベートのわび日記

どんと焼きの思い出



志村 靖彦

先日、町内で2年ぶりにどんと焼きが行われました。それに先立ち、今年は町内会の一員として「賽の神」作りの手伝いをする事になりました。私は子供の頃（小学校2年生〜6年生位まで）、近所の子らと一緒にリヤカーを引いて、町内の各戸を回り、正月のお飾り集めをしました。すると大概の家庭で50円〜100円のお駄賃をくれ、それを貯めて「賽の神」を作るのに必要な荒縄や竹を買い、余つたお金でノートや鉛筆、お菓子などを買って子供達みんなで分け合いました。それが楽しみで、学校から帰ると一目散に「賽の神」の場所へ集まり、みんなが他愛もない話をしながら夕方までそこで遊ぶのが楽しみでした。

今になつては、「賽の神」の作り方を知っている人はほとんどおらず、今年も何年前か前にこんな風に作ったからとうる覚えの方が指導しながら作り始め

した。しかし、なかなか思うように捗らず、私は我慢していいものをついに我慢ができなくなり、50年以上前の記憶を辿りながら、こんな風に作る、ここはこうするなど生憎気にも口を出しながら、やっと作り上げることができました。

どんと焼きの当日は、大勢の家族連れが、いろいろな大きさをの団子を小枝の先に刺して集まって来ました。「賽の神」に火が付ければ、燃え上がる炎を見ていると子供の頃が懐かしく思い出され、今は誰一人とて会うこともなくなつてしまつた昔の友達の顔を、暫し、思い浮かべていました。

今の子供達にもこういう伝統行事を伝えたいのですが、世の中は変わり、道路事情や何せ、今のお子さん達には沢山の習い事などがあり、リヤカーを引いて町内を回るなど到底できそうにもなく、寂しい限りです。



～町田のまち歩き～

町田市内には、魅力のあるスポットがたくさんあります。
今回はその中でも、桜が綺麗なおすすめスポットを紹介します。



恩田川

恩田川周辺には約400本のソメイヨシノが植えられており、約2 kmにわたる桜並木が続きます。
川沿いの桜並木や、橋から見る川にかかった桜など、さまざまな表情の桜を楽しむことができます。



尾根緑道

町田市内を東西に走る多摩丘陵の稜線上に約8 kmにわたって続く、通称戦車道路（かつて相模原市にあった陸軍造兵廠で製造された戦車のテストコースとして作られたが十分に利用する前に終戦となった）のうち、1.5 kmの間に植えられた約360本の桜。散策路も整備されており、散策にピッタリです。

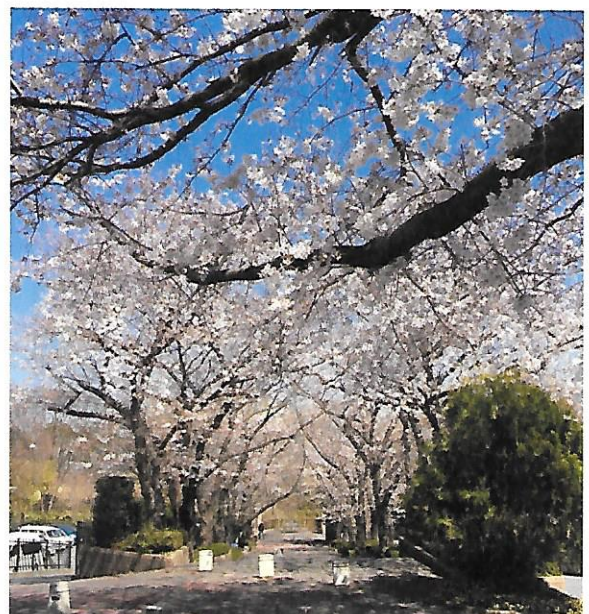
畑に植えられた菜の花とのコラボレーションも綺麗な景色となっています。



芹ヶ谷公園

芹ヶ谷公園には、約100本のソメイヨシノとヤマザクラが植えられています。

広い公園内には桜が見れる場所がいくつかありますが、最も広い多目的広場はたくさんの人で賑わいます。また、南口アプローチ園路の桜のアーチは見ごたえがあります。



2022年、東京の桜の開花予想日は、3月22日と平年並みの予想となっています。



◎新規スタッフの紹介
 2021年11月から、事務局
 に新規スタッフ高橋恵美子さん
 が入られました。主に電話対応
 や庶務業務などを担当します。
 よろしくお願いいたします。

事務局だより

***** シリーズ・ことば *****

季節の詩(うた)

—— 心に残る名詩 ——

春の夕べ

深尾須磨子

まっ青な春の夕べ、
 とぼし切れぬ心の灯を、
 たった一つのランプに点けて、
 木の葉のやうにふるへます。

何かしらよいことの、
 何かしらおもふことの、
 恐ろしいほどの愛撫の手に、
 どうしやうかと私はつつぷします。

堪へることのよさ、
 堪へることの切なさ、
 堪へることの切なさに、
 うちまかせた心の苦しき。

さはらないで下さい、
 糸が切れます、
 張り切った糸が、
 一寸でも、ああ、一寸でもさはったら。

まっ青な春の夕べ、
 とぼし切れぬ心の灯を、
 たった一つのランプに点けて、
 木の葉のやうにふるへます。

(日本の名詩・大和書房 参照) 選・Nabe

《編集後記》

春よこい！
 早くこい！



2022年の夜が明けました。
 ……が、2年越しのコロナ禍（デル
 ターオミクロン）のなかで、目の前
 には、止めようもなく（当たり前
 ように）増え続ける非正規雇用と理
 不尽な雇い止め、そうして、絶望と

孤独の果ての自死（2021、年間2万
 1千人余）。…身も心も凍りつくほど
 に寒い夜明けですが…。

春よこい！
 早くこい！

ともかくにも新しい時間の始まり
 です。“ハンディキャブ友の会”も今
 年は40周年（1983年10月創立）を
 目前に控えての、記念に残る大事な夜
 明けです。会員の皆さまもお一人お一
 人、心のなかに爽やかな笑顔を持ちな
 がら、コロナも政ごとの貧しさも蹴飛
 ばして、いつものように元気よく歩き
 出さなければと思います。

追記
 今号発行が“コロナウイルス”に
 あしぶみを余儀なくされてしまい、予
 定より少し遅れてしまいました。お詫
 びまで。

(2022春広報子一同)